

【模範解答】

一見してみると、薄暗い駅構内に黒服男性が 1 人、手すりに赤風船が 2 つと、およそ相容れないもの同士が組み合わさり、読み手に暗く不思議な第一印象を与えている。はたして、この写真はどのようなメッセージを込めて撮影されたのだろうか。

この写真を分析する上で、特筆すべき点を 3 点まとめたい。1 つ目は、周囲の様相だ。周囲はピンクとも赤ともとれる色合いで包まれており、階段や手すり、まして写真最下部の赤風船ですら汚れを帯び、その全てが古ぼけた様相を見せている。2 つ目は、写真最下部にある 2 つの赤風船の存在だ。一般的に、風船は幼児の喜ぶ玩具である。さらに、それらの風船は周囲よりも赤々としており、加えて互いが接触していることもうかがえる。このことから、この風船はまるで精子と卵子が結びついたかのような、エネルギッシュな印象を与えている。3 つ目は、写真上部の黒服男性の存在である。この男性の年齢は特定しづらいものの、少なくとも若年層とは言えず、どちらかと言えば高年齢であることがうかがえる。また、この男性が着ている服は黒色であり、まるで喪に服しているように見えたとしても不自然ではないだろう。

以上より、この写真は人間がこの世に生を受けた後、年を重ね（階段をのぼるにつれ）死へと向かっていくという、人生の儚さを表していると推測できる。おそらく写真の男性も、最初は赤子の姿で階段の最下部からのぼり始め、周囲もきれいなピンク色で包まれた様相だったのだろう。しかし、階段を一步ずつのぼり年を重ねるにつれ、自身も青年、中年、老人へと姿を変え、周囲の環境も少しずつ汚れや傷を重ねていったのだと推測できる。そう考えると、黒服の男性も死への片道切符を片手にし、覇気がないようにも感じられないだろうか。医療人を目指す私たちは、この男性の隣で死への恐怖を強く共感し、優しく寄り添っていくことが求められるのだろう。

（800 字）

